

施策評価シート

評価実施年度：令和元年度

幹事部局

環境生活部

<p>施策の名称</p>	<p>施策Ⅲ－２－２ スポーツの振興</p>
<p>施策の目的</p>	<p>県民一人ひとりの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて多様なスポーツ活動が実践できる環境づくりを目指します。</p> <p>国際大会や国民体育大会などの全国大会において、優秀な成績を収められる選手の育成を目指します。</p>
<p>施策の現状 に対する評価</p>	<p>(多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村や関係団体との連携を強化した結果、様々なスポーツを体験する「島根県スポーツ・レクリエーション祭」の参加者は平成29年度の5,139人から5,727人へ大きく増加した。一方、日常的にスポーツを楽しむ機会を提供する「総合型地域スポーツクラブ」の数は1減(2減、1増)となり、総合型地域スポーツクラブの充実に向けた支援強化が求められている。 スポーツに取り組んでいる人の割合は、平成29年度の33%から37%へ増加したものの目標の39%には至っていない。 <p>(優秀な選手の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国レベルで活躍する選手の育成を図るため、強化指定校を中心に強化した結果、国体の中国ブロック予選突破競技は平成29年度の11競技から16競技となり、5競技増えた。一方、国体の成績は競技得点143点、総合順位46位となり、平成29年度の競技得点406点、総合順位38位から大きく下げた。また、入賞種目数も平成29年度の31から22に減少し、安定した競技力の維持に改善の余地がある。 強化指定を継続する競技で成果が上がっている一方、指定外競技では入賞がほとんどなく、強化対象競技の拡大が必要である。また、県外在住者に対しては、島根にゆかりのある選手が「ふるさと選手」として国体で活躍してもらうための働きかけが不十分である。
<p>今後の取組み の方向性</p>	<p>(多様なスポーツ活動が実践できる環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツの推進役である「しまね広域スポーツセンター」と連携し、総合型地域スポーツクラブのマネージャーの育成、指導者の派遣や育成、各クラブの運営支援強化と、クラブ数の増加に取り組む。 関係部局、市町村などと協力し、健康づくりの面からスポーツの大切さを啓発し、スポーツを楽しむ人を増やす。 <p>(優秀な選手の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 強化指定校を中心とした競技力向上を図るとともに、各競技団体との連携を強化し、2029年島根国体を視野に入れた中・長期視点に立った効果的な強化策に取り組む。 地域の外部人材の活用を充実させ、教職員の専門性がなくても部活動の指導ができる運営体制を構築し、更なる競技力の向上と魅力化を図る。 「ふるさと選手」に対する働きかけは、県外の学校等へ進学する際や毎年の国体開催時など、競技種目に関わらず機会を捉えて行っていく。また、国体での「ふるさと選手」の活躍を広く広報することで選手本人の意識を高めていく。 企業などにスポーツに対する理解や関心を高め、成年選手の職場の受け皿となるよう働きかけ、成年選手の競技継続を支援する。

施策に関連する指標の一覧

施策の名称	施策Ⅲ－２－２ スポーツの振興
-------	-----------------

施策の目的達成に向けて取り組む事務事業において設定している主な成果参考指標

項番	施策の成果参考指標	指標名	平成27年度	平成30年度		令和元年度	単位
			実績値	目標値	実績値	目標値	
1	○	スポーツに取り組んでいる人の割合	36.4	39.0	37.0	40.0	%
2		総合型地域スポーツクラブ数	34.0	40.0	33.0	40.0	クラブ
3		島根県スポーツレクリエーション祭への参加人数(全体)	5,434.0	5,000.0	5,727.0	5,000.0	人
4		県立体育施設(5施設)を利用した利用者数	263,401.0	271,139.0	300,122.0	271,139.0	人
5	○	国民体育大会年間入賞種目数	26.0	27.0	22.0	28.0	種目
6	○	全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会・国民体育大会(少年)の年間入賞種目数	52.0	55.0	42.0	56.0	種目
7		国体選手派遣数	273.0	318.0	264.0	318.0	人
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

事務事業の一覧

施策の名称	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興
-------	-----------------

	事務事業の名称	目的 (誰(何)を対象として、どういう状態を目指すのか)	前年度 事業費 (千円)	今年度 事業費 (千円)	所管課名
1	生涯スポーツ推進事業	県民を対象として、各地域で、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、継続的なスポーツ・レクリエーション活動を実践する。	25,678	25,611	スポーツ振興課
2	県立体育施設管理運営事業	県民を対象として、施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことを通じて、スポーツの普及を図る。	350,498	351,326	スポーツ振興課
3	競技スポーツ普及強化推進事業	全国や世界規模の大会で活躍が期待される選手や指導者、ならびに各競技団体を対象として、 ・全国で活躍する選手を多数育成し、競技力向上を図る。 ・指導者の資質向上を図り、多くの優れた選手を育成する。 ・各競技団体の普及活動や育成活動を支援し、競技スポーツの普及と促進を図る。	157,002	163,363	スポーツ振興課
4	国民体育大会選手派遣事業	国民体育大会の県予選、中国ブロック予選、本大会へ出場する選手と監督を対象として、多くの選手が中国ブロック予選を勝ち抜き、国民体育大会の本国体へ出場する選手と監督の人数を増やす	79,006	102,061	スポーツ振興課
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興
-------	--------------------

1 事務事業の概要

担当課	環境生活部スポーツ振興課
-----	--------------

名称	生涯スポーツ推進事業				
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どうい状態を目指すのか	各地域で、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、継続的なスポーツ・レクリエーション活動を実践する		25,678	25,611
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広域スポーツセンター運営事業：総合型地域スポーツクラブの活動・運営の支援、島根県スポ・レク祭の実施 ・スポーツ推進審議会の開催：島根県スポーツ推進審議会を開催し、第2期島根県スポーツ推進計画を策定 ・ユニバーサルデザインでつくるスポ・レク推進事業：年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もが一緒にスポーツやレクリエーション活動を楽しむ場を提供 ・運動好きな子どもを育てる地域連携事業：総合型地域スポーツクラブ、公民館、放課後子ども教室などの地域団体と連携し、運動好きな子どもを育てる取組みを実施 ・スポーツ功労者表彰：スポーツ振興に顕著な功績・成績を上げたスポーツ関係者及び団体を表彰 				
	前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブのPRツールの作成 ・各事業の実施にあたっては、市町村や関係団体との連携を強化し、地域ぐるみの活動として取組みを実施 			

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	スポーツに取り組んでいる人の割合	目標値		37.0	38.0	39.0	40.0	
			(取組目標値)						
	式・定義	スポーツに取り組んでいる人の割合(島根県世論調査)	実績値	36.4	36.1	33.0	37.0		
		達成率	-	97.6	86.9	94.9	-	%	
2	指標名	総合型地域スポーツクラブ数	目標値		40.0	40.0	40.0	40.0	
			(取組目標値)						
	式・定義	設立された総合型地域スポーツクラブ数(しまね広域スポーツセンター調べ)	実績値	34.0	34.0	34.0	33.0		
		達成率	-	85.0	85.0	82.5	-	%	
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取り組んでいる人の割合が大きく増加 ・総合型地域スポーツクラブの新規開設が1クラブあった一方、解散・吸収により2クラブ減となり、全体で1クラブ減となった ・島根県スポーツ・レクリエーション祭への参加者数が増加 	
課題分析	①	「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	ア) スポーツに取り組んでいる人の割合はやや改善したが、依然として伸び悩んでいる。 イ) 総合型地域スポーツクラブを新規に設立する動きが少なく、既存のクラブでは、事務局体制の維持や自主財源の確保等に苦慮するクラブが多くみられる。
	②	上記①(課題)が発生している原因	ア) これからスポーツに取り組みたい人へのきっかけとなる場の提供や情報発信が不足している。 イ) 総合型地域スポーツクラブの認知度が十分でなく、また市町村の支援も十分でない。
	③	上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	ア) 健康福祉部など関係部局と連携し、健康づくりの面からスポーツの大切さを啓発し、また、スポーツを楽しむ場の情報発信を強化し、スポーツを楽しむ場の活用を促す。 イ) ポスター、ホームページを活用した情報発信、市町村との連携強化を行い、総合型地域スポーツクラブの認知度向上、運営力強化を図る。 イ) 総合型地域スポーツクラブの新規設立に向けた取組みを検討し、クラブ数の増加を図る。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	生涯スポーツ推進事業
---------	------------

項番	成果参考指標名等		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
3	指標名	島根県スポーツレクリエーション祭への参加人数(全体)	目標値		5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	
			取組目標値						
	式・定義	スポレク広場(体験の場)の参加者数及び種目別大会(普及・振興の場)参加者数	実績値	5,434.0	5,223.0	5,139.0	5,727.0		
			達成率	—	104.5	102.8	114.6	—	%
4	指標名	島根県スポーツレクリエーション祭への参加者数	目標値		1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	
			取組目標値						
	式・定義	スポレク広場(体験の場)への参加者数	実績値	2,194.0	2,322.0	2,429.0	2,829.0		
			達成率	—	154.8	162.0	188.6	—	%
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興
-------	--------------------

1 事務事業の概要

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

名称	県立体育施設管理運営事業				
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことを通じて、スポーツの普及を図る。		350,498	351,326
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に配慮した施設管理及び利用者ニーズに対応したスポーツ教室等の企画運営を行う。 ・利用者が安全に、かつ、安心して利用できる施設とするため各施設に必要な整備を行う。 (県立体育施設の管理については、公益財団法人島根県体育協会が指定管理者となり、使用許可や使用料の徴収等の業務を一括して行っている。) 				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	石見武道館において、新規の施設利用者及びリピーターを増やすため幼児以上を対象とした幅広い層が参加できる柔道教室の開催や柔道体験イベントを実施した。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位		
1	指標名	県立体育施設(5施設)を利用した利用者数	目標値		271139.0	271139.0	271139.0	271139.0	人	
	式・定義	1年間に県立体育施設(5施設)を利用した人の延べ人数	実績値	263401.0	301069.0	291646.0	300122.0			
			達成率	-	111.1	107.6	110.7	-		%
2	指標名		目標値							
	式・定義		実績値							
			達成率	-	-	-	-	-		%

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

県立体育施設別利用者数

	武道館	石見武道館	水泳プール	体育館	サッカー場	5施設計
H29	50,450人	31,832人	106,469人	82,437人	20,494人	291,682人
H30	50,661人	32,039人	109,199人	89,618人	18,605人	300,122人
増減	+211人	+207人	+2,730人	+7,181人	▲1,889人	+8,440人

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	各施設において多様なスポーツ教室の実施や主催大会、各種イベントの開催を行っており、施設利用者は高い水準を維持している。
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	武道館の主たる競技である柔道の教室参加者数について、前年度と比較して石見武道館では増加したものの、武道館では減少した。
	② 上記①(課題)が発生している原因	少子化に伴い小学生以下の県内柔道競技者数が減少傾向にある。
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	幼児から柔道に親しむことができる教室の開催や体験イベントなどを継続して実施する。武道館の柔道教室の対象を幼児以上に拡大し、柔道体験イベント等を通じて参加者の増加を図る。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策Ⅲ-2-2 スポーツの振興
-------	-----------------

1 事務事業の概要

担当課	環境生活部スポーツ振興課
-----	--------------

名称 競技スポーツ普及強化推進事業					
目的	誰(何)を対象として	全国や世界規模の大会で活躍が期待される選手や指導者、ならびに各競技団体	事業費(千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で活躍する選手を多数育成し、競技力向上を図る。 ・指導者の資質向上を図り、多くの優れた選手を育成する。 ・各競技団体の普及活動や育成活動を支援し、競技スポーツの普及と促進を図る。 		157,002	163,363
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国体強化指定選手の県外遠征等や強化練習会の開催を支援する。 ・優れた選手を育成するための指導者養成を支援する。 ・中高生の競技力向上を図るため、強化指定校の県外遠征や、招請合宿等の開催を支援する。 ・各種国際大会で活躍する選手を育成するため、全国大会で活躍している選手の県外遠征を支援する。 ・支援コーチやトレーナーを国体やブロック大会、その他全国大会へ派遣する。 ・選手の能力を引き出し、効果的な練習が行えるよう、栄養面・身体面等での医学的なサポートを行う。 ・競技の普及や、競技を支える人材の育成を図るため、地域を巻き込んだ普及・育成活動を支援する。 				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・国体以外の大会へもトレーナーを派遣し、練習から大会までを通じた選手の支援体制を整えた。 ・医学的な調査、研究を行い、効果的な練習のための支援を行う。 ・各競技団体の実情や課題を把握するため、県体育協会や各競技団体との連携を強化した。 				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名 入賞種目数(成年)	目標値		16.0	16.0	16.0	16.0	
	式・定義	(取組目標値)						
	国民体育大会において成年選手が入賞した種目数	実績値	7.0	11.0	9.0	5.0		
		達成率	—	68.8	56.3	31.3	—	%
2	指標名 入賞種目数(少年)	目標値		53.0	54.0	55.0	56.0	
	式・定義	(取組目標値)						
	国体・全国中学校体育大会・全国高校総体等で8位入賞した種目数	実績値	52.0	73.0	60.0	42.0		
		達成率	—	137.8	111.2	76.4	—	%
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など								

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国体中国ブロック予選を突破して本大会へ出場する競技が新たに4競技増えた(H29:11競技⇒H30:15競技)。またその競技のうち1競技(サッカー成年男子)は入賞し、2競技(柔道少年男子、剣道少年女子)はベスト16だった。ブロック予選を突破する競技を増やすことが、本大会で入賞する競技を増やすことにつながる。 ・H30国体強化指定競技14競技のうち6競技で入賞があった。その6競技については過去3年間強化指定を受けている競技団体であり、継続した強化の支援をしていくことが全国で活躍するために必要なことである。
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> ア) ブロック予選を突破する競技種目が中国五県の他県に比べ少ない。 イ) 入賞する競技団体が限られている。 ウ) 成年選手の入賞する数が少年選手に比べて少ない。 エ) 競技人口の減少や優秀な選手の県外進学により、普及から強化のピラミッドが縮小している。
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> ア) イ) 国体強化指定競技以外は強化やホータースタッフの派遣が十分に行っていない。ウ) 県内の大学や企業で選手を受け入れる環境が乏しく、優秀選手が進学・就職により他県へ流出する。エ) 優秀指導者(教員)の適正配置と長期間指導する体制が十分に整っていないため、選手・保護者にとって、魅力ある進学先としての環境が整っていない。イ) 小学校での普及活動の周知不足、中学校での選手の育成不足、高校での強化不足等、選手を一貫して育てる体制が十分でない。
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと選手に対し、強化遠征費の支援を行う。 ・県外大学へ進学した優秀な選手に対し、機会を捉えて「ふるさと選手」としての出場を働きかける。 ・優秀な指導者の適正配置と長期の継続指導について教育委員会と協力する ・競技団体の行う指導者研修を支援する。 ・強化指定競技や強化指定校等の遠征費を支援し、また、医学的サポート体制を充実する。 ・各競技団体による中・長期的な普及強化活動のビジョンや課題を把握し、より効果的な支援方法について競技団体や県体育協会と協議しながら検討するとともに、必要な競技団体については支援する。

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	Ⅲ-2-2 スポーツの振興
-------	---------------

1 事務事業の概要

担当課	環境生活部スポーツ振興課
-----	--------------

名称 国民体育大会選手派遣事業					
目的	誰(何)を対象として	国民体育大会の県予選、中国ブロック予選、本大会へ出場する選手と監督	事業費(千円)	前年度実績	今年度計画
	どうい状態を目指すのか	多くの選手が中国ブロック予選を勝ち抜き、国民体育大会の本国体へ出場する選手と監督の人数を増やすこと		79,006	102,061
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 国体県予選大会運営支援：選手、監督を中国ブロック大会や本国体へ派遣するため、関係競技団体に対して、国体の県予選大会運営費を補助する。 中国ブロック予選派遣：多くの選手、監督が本国体へ出場できるよう、県予選を勝ち抜いた選手、監督を国体中国ブロック大会へ派遣する。 本大会派遣：多くの選手が活躍できるよう、県予選及び中国ブロック予選を勝ち抜いた選手、監督を本大会へ派遣する。 				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと					

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
1	指標名 国体選手派遣数	目標値		318.0	318.0	318.0	318.0	
		(取組目標値)						
	式・定義 国民体育大会へ派遣した選手の数	実績値	273.0	300.0	307.0	264.0		
		達成率	-	94.4	96.6	83.1	-	%
2	指標名	目標値						
		(取組目標値)						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など								

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 国体ブロック予選を突破して本大会へ出場する競技が新たに4競技増えた(H29:11競技⇒H30:15競技)。またその競技のうち1競技(サッカー成年男子)は入賞し、2競技(柔道少年男子、剣道少年女子)はベスト16だった。ブロック予選を勝ち抜くことが本大会での入賞数を増やすことに繋がる。
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	ア) ブロック予選を勝ち抜く競技種目が他県に比べ少ない。(島根：32種目、鳥取：31種目、岡山：54種目、広島：47種目、山口：48種目)イ) 成年選手のブロック予選を勝ち抜く競技種目が他県に比べ少ない。(島根：12種目、鳥取：15種目、岡山：30種目、広島：30種目、山口：24種目)ウ) ブロック予選不参加競技は、競技人口の少ない未普及競技に多く、他県に比べ最も多い。(島根：5競技、鳥取：4競技、岡山：2競技、広島：2競技、山口：4競技)
	② 上記①(課題)が発生している原因	ア) 安定して高い競技力を有する競技が他県に比べて少ない。 イ) アスリートを受け入れる大学や企業が県内に少なく、高校まで強化した選手が、大学・社会人へと移行する際に競技をやめたり、県外流出する。 ウ) 未普及競技の普及活動や携わるスタッフの人材育成が不十分である。
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 県外へ進学した優秀な選手に対して、機会を捉えて「ふるさと選手」としての出場を働きかける。 小学生を対象とした普及事業、中学生を対象とした強化育成事業を充実させ、切れ目のない普及・育成・強化を実施する。 県体育協会や各競技団体と十分に連携をとり、各競技団体の現状や課題を把握して効果的な支援を検討する。